

## 新上五島警察署協議会第2回会議議事概要

日 時	令和元年5月22日（水）10時04分～11時04分
場 所	新上五島警察署講堂
出 席 者	<p>1 協議会 近藤会長 石田委員 中村委員 和田委員</p> <p>2 警察署 中島署長 山田副署長 熊川刑事生活安全課長 宇野地域交通課長</p> <p>3 書 記 警務係長</p>
会 議 の 状 況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 署長から、前回協議会の提出意見である「初心運転者及び高齢運転者に係る交通事故防止対策の推進」に対する推進状況について、次のとおり説明があった</p> <p>(1) 管内4地区（江ノ浜、相河、青方、有川）で高齢者宅訪問時に交通事故防止講話を実施した。</p> <p>(2) 認知症疾患医療連携協議会の場において、高齢運転者の現状に関する講話を実施した。</p> <p>(3) 認知症疾患医療連携協議会及び地域ケア推進会議に出席して関係機関の代表者と連携を強化した。</p> <p>(4) 年金支給日に郵便局と合同での高齢者見守り活動を実施した。</p> <p>(5) 管内2地区（奈良尾、上五島）で新上五島町社会福祉協議会が開催した「ペタンク大会」の場において交通事故防止講話を実施した。</p> <p>(6) 運転免許証の自主返納制度、反射材の効用及びシートベルトの着用徹底を呼び掛ける記事を掲載したミニ広報紙を作成し、管内で配布した。</p> <p>2 平成31年1月から3月までの業務重点推進結果について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 「高齢者に係る交通事故防止対策の推進」について</p> <p>ア 被害防止講話の実施</p> <p>(ア) 管内2地区における高齢者対象の交通事故防止講話</p> <p>(イ) 管内企業の従業員に対する交通安全講話</p> <p>イ 交通事故被害防止に係る広報啓発活動</p> <p>(ア) 高齢者宅巡回連絡時における交通事故防止指導及び反射材の直接貼付活動</p> <p>(イ) 電動車いす運転者に対する交通安全旗の配布</p> <p>ウ 高齢者安全・安心アドバイザー事業所と共同した広報啓発活動 浦桑郷の商業施設におけるレシートを活用した高齢者への交</p>

通事故等被害防止啓発活動

- エ 横断歩道による道路横断の徹底及び夜間運転時の前照灯活用徹底を呼び掛ける記事を掲載したミニ広報紙の作成及び配布
- (2) 「犯罪抑止対策の推進」について
  - ア 被害防止講話の実施
    - (ア) 管内2地区における犯罪情勢及び安心メール・キャッチ君加入促進の講話
    - (イ) 管内3地区における高齢者対象の防犯講話
  - イ 犯罪被害防止に係る訓練の実施
    - 管内8小・中学校における児童及び教職員対象の不審者対応訓練
  - ウ 関係機関との連携
    - (ア) 管内パチンコ店2店舗に対する防犯カメラ増設依頼
    - (イ) 魚目小学校支援会議に出席し学校関係者との連携を強化
    - (ウ) 小値賀町要保護児童対策地域協議会実務者会議に出席し関係機関との連携を強化
  - エ 関係機関との協働による広報啓発及び警戒活動
    - (ア) 管内3町における110番の日に係る広報啓発活動
    - (イ) 防災行政無線を活用した特殊詐欺被害防止広報
    - (ウ) 年金支給日における犯罪なく3ば運動推進モデル地区住民と合同での広報啓発活動
  - オ 犯罪被害防止に係る啓発活動の推進
    - (ア) 宇久町における合同巡回連絡時の防犯指導
    - (イ) つわフェスタ2019における寸劇による広報啓発活動
    - (ウ) 管内2地区における高齢者宅巡回連絡時の安全カード配布
  - カ ミニ広報紙等の作成及び配布
    - (ア) 県内における高額詐欺被害及び東京における「アポ電強盗」発生に伴う注意喚起記事を掲載した生活安全ニュースの作成及び配布
    - (イ) 特殊詐欺被害防止及び鍵掛けの徹底を呼び掛ける記事を掲載したミニ広報紙の作成及び配布

3 業務重点推進計画について

署長から、次のとおり説明があった。

- (1) 「梅雨時期を前にした災害警備諸対策の推進」について
  - ア 各種会合における自主防災講話の実施
  - イ 自治体等と連携した災害危険箇所の確認
  - ウ 災害用資機材の確認及び習熟
- (2) 「犯罪抑止対策の推進」について
  - ア 各種会合の場における犯罪被害防止講話の実施
  - イ 街頭キャンペーン等広報啓発活動の推進
  - ウ 関係機関との連携強化

○ 梅雨時期における交通事故防止対策の推進

提 出 意 見

梅雨時期になれば、降雨によって路面状況が悪化したり、車両運転時にも視界が遮られる状況が増えることによって事故が増加するおそれがあるため、梅雨時期における交通事故防止対策を推進してもらいたい。

また同意見に付随して、島外からの流入者に係る交通事故や、トンネル内通過中の無灯火等による交通事故の防止対策も併せて推進してもらいたい。